



第26号

発行 宮城県泉高泉陽会  
 泉区将監丁三九番一  
 電話〇三三七一四二一  
 印刷 創文印刷出版株式会社  
 青葉区春日町八番二四号



同窓会長  
桂島晃

### 生き方を学ぶ

灘中、灘高合格日本一の  
 大手進学塾の元講師という  
 経歴を持つ方の講演を聞く  
 機会を得ました。有名進学  
 塾講師ということなので、  
 「進学校にどうしたら合格  
 できるか。」「受験勉強の方  
 法はどうか。」「どんな勉強  
 をすればよいのか。」等、  
 勉強のノウハウが分かるか  
 もしれないという思いで講  
 演会に臨みました。ところが、  
 講演内容は、「なぜ、  
 勉強するのか。」「幸せにな  
 るためにはどんなことが大  
 切であるか。」等、人間の  
 生き方を問う深い話でした。  
 講演内容の一部を紹介し  
 ます。

・塾の講師時代、自分のク  
 ラスから灘高に合格する  
 者が少ないことに悩んだ。  
 誰よりも教材研究をして  
 指導しているのに、どう  
 して受からないのか？自  
 分よりも子どもたちを責  
 める日々が続いた。  
 ・勉強のノウハウ、受験の  
 テクニクを教えても伸  
 びない。つまり、知識や  
 技術を教えたって伸びな  
 い現実があった。  
 ・「どうして勉強するのか？」  
 「どのように生きていく  
 のか？」「どうしたら幸  
 せになれるのか？」、こ  
 れらを考えたり、捉えた  
 りすることのできる子ど  
 もは、だまっけていても伸  
 びる。要は心構えをしっ  
 かり持たせることのほう  
 が、よほど大事なのだと  
 いうことを認識した。

・「何のために勉強するの  
 か？」を、人生の先輩や  
 保護者、卒業生など、多  
 くの方々の意見を参考に  
 し、自分の同僚とともに  
 つきつめていった。  
 ・その結果、つきつめてい  
 くと、社会貢献や他の人  
 のためになることをする  
 ことにたどり着き、その  
 ことが自分を幸せにする  
 ことにつながるこれが理  
 解できた。  
 ・社会においても、同じこ  
 とが言える。人に与える  
 ことのできない会社はい  
 ずれ倒産する。客からも  
 らえることばかりを考  
 らると、客ももらえら  
 ないと、客ももらえら  
 ばかりを考える。利害関  
 係だけでは会社は伸びて  
 いかない。また、今の若  
 者は、賃金や勤務条件な  
 ど会社からもらえること  
 ばかりを考える。そうで  
 はなくて、自分はこの会  
 社に何が与えられるかを  
 考え、実行することが大  
 切であり、それが会社の



校長  
小野寺 恭一

### ごあいさつ

同窓会の皆様方には、日  
 頃より本校の教育活動にご  
 支援・ご協力をいただき大  
 変感謝申し上げます。  
 母校は、この四月三二〇  
 名の新生を迎え、今年度  
 八七五名でスタートいたし  
 ました。五月一日には、第  
 二十五回泉三校定期戦が開  
 催され、本校からは、硬式  
 野球を始め二十チームが出  
 場し、各部とも大いに健闘  
 いたしました。選手のみな  
 らず応援団、生徒会執行部、  
 チアリーダーさらには一般  
 応援団とも一丸となって応援  
 に力が入り、見事、三年ぶ  
 りの総合優勝を果たしまし  
 た。六月の高校総体におい  
 ても、各部ともよく健闘し、  
 特に陸上部はハードル競技  
 で東北大会出場を果たしま  
 した。更に、文化部におい

でも、放送部がNHK杯全  
 国放送コンテスト朗読部門  
 で全国大会出場が決まって  
 おります。  
 さて、本県では、この三  
 月に「宮城県教育振興基本  
 計画」をまとめ、その重点  
 的取組の一つとして「志教  
 育」の推進を掲げておりま  
 す。これは、小学校段階か  
 ら中・高等学校をとおして、  
 発達段階に応じて自らの生  
 き方を主体的に探求するよ  
 う促していくことを重視し  
 たものです。本校は、ほと  
 んどの生徒が大学へ進学を  
 希望していることもあり、  
 「大学でどのようなことを  
 学ぶか」又「大学等の向こ  
 う側にある社会を把握する」  
 ことなどを中心に取り組ん  
 でおります。

母校では、昨年度から桂  
 島会長さん始め役員の皆様  
 方からもご協力をいただき、  
 社会の第一線でご活躍の同  
 窓生八名をお招きして「社  
 会人講話」を実施いたしま  
 した。東北医学部の医学  
 博士、薬剤師、消防、公取、  
 農協、福祉、税理士、弁護  
 士等多様な職種の皆様方で、  
 生徒は大いに啓発されたよ  
 うです。同窓生の皆様方に、  
 この場をお借りしまして改  
 めて感謝申し上げます。こ  
 のように、先輩方から力強  
 いメールをいただきながら、  
 現役生は自己の目標達成に  
 向けて努力しているところ  
 です。今後とも変わらぬご  
 支援をお願い申し上げます  
 とともに、同窓会のみならず  
 ご発展を祈念申し上げます。

文化を創ることもなかり、  
 会社は発展する。  
 講演を聴き、価値観が多  
 様化し生きている座標軸が見え  
 にくくなっている現代、今  
 の子どもたちには、人の在

り方や生き方を考えさせる  
 必要があるように思いまし  
 た。人は出会いによって変  
 わると言われますが、その  
 所以も、人の生き方に触れ  
 ることであるように思いま

す。是非、後輩諸氏には、  
 人の在り方や生き方につい  
 て考えを深め、学ぶ意義を  
 しっかりとらえ、「志」を  
 もって邁進してほしいと思  
 います。

# 祝 N H K 杯全国大会出場 放送部 祝 東 北 大 会 出 場 陸 上 部



## 『全国大会に向けて』

放送部 松本 花雪

「放送部に大会なんてあるの？」私が行った大会を終えて以来、よく言われる言葉です。そうです。大会があるんです。私たちが放送部員は、年二回の大会があります。アナウンス、朗読、テレビ・ラジオドキュメント、テレビ・ラジオドラマ、研究発表、以上の部門での上位入賞を目指し、個性的なメンバーと共に、お菓子をつまみながら活動しています。糖分は大切だね。

放送部の活動はこのように紹介して、続いて先に行われた県大会に向けての思いを綴ります。県大会は、予選と決勝があります。約二〇〇人の内、二十人が決勝へと駒を進め、更にその中から上位六人が全国大会へ出します。特に今回は、前の大会で県上位の方が予選敗退、我が校からはアナウンス・朗読合わせ四人が決勝進出など、なかなかスゴイ結果でした。このスゴイ結果からわかるように、当然ながら、大会は何が起こるかかわらないのです。スポーツ競技のようにタイムを競ったり、シュートを決めたりするようない見えた結果が出るわけではありませんが、滑舌の良し悪しなど、基本的な条件を除けば残すは審査員感覚のみです。誰のせいにもできない、二分、一分、秒単位で三ヶ月を一度きりの勝負にかけます。上位の大会に進むにつれて、期待や尊敬、少々の妬み。様々な他者からの感情がのし掛かると共に、本著者が両肩に手を置き私たちに重圧をかけます(笑)。それに打ち勝ち払い除けるのではなく、全ての肩の重荷を受け止めつつ、

自分の朗読ができた人こそ更以上に進むことができるのだと思います。こんなことを何故楽しんでやっているんだろう。そう疑問に思う人もいらっしゃると思います。私も思います(笑)。答えとしては、「好きだから」としか言えません。嫌になることもありますが、辞めたくもありません。ただけどやっぱり声を出すことをやめられませんか。好きなんです。他の誰に何を言われよう。立派な放送中毒ですね(笑)。すでに派から東京では立派な中毒ぶりを存分にアピールしてくるのを目標にしていきたいと思っています(笑)。

## 『東北大会に出場して』

陸上部 千葉 太一

県大会最終日、多くの人のサポートや応援のおかげにより、実力を発揮して一〇mハドルで東北大会に進出することができました。家族や顧問の渡邊先生、そして陸上部のみんなにとても感謝しています。東北大会は山形県のNDソフトスタジアムで開催されました。僕は中学時代から陸上を続けていますが、東北大会は初めて出場する未知なる大会だったので、県大会以上に不安や緊張を感じていました。試合当日に会場に着くと、更に県代表が集まってピリピリした、県大会とは違う独特の雰囲気は、僕は完全に吞まれていました。体調、天気共にコンディションは最高の状態で臨んだ予選。結果は出せません。苦しむ結果になりました。原因はやはり精神的なところにあると思います。応援してくれたみんなに申し訳ない苦しさ、本番で力を発揮できなかった実力不

足にまだまだ努力が足りないと感じました。しかし、まだ東北大会で実力を発揮して、更に上を目指す機会後は二回残っています。今回経験した失敗から学んで、次の新人戦では同じ失敗を繰り返さないよう今後の練習でしっかり準備してライバル達に勝ちたいと思っています。二年生が引退し、新体制となった陸上部。今のチームの雰囲気は総体前にも増して良くなっています。お互いがチームメイトを刺激して緊張した新人戦で練習し、みんなな次の大会に向けて頑張っています。次は僕だけでなく、みんなで東北大会に行けるように、頑張っていきます。

## II 運動部の活躍

### 高校総体体育大会結果報告

#### 陸上競技男子

110mハドル 6位 東北大会出場

走り幅跳び 9位 千葉太一

400m 準決勝進出 吉田和真

400mハドル 2年 赤松良

400mリレー 準決勝進出 千葉太一

2年 中村和義・吉田和真

3年 赤松良・千葉太一

1600mリレー 準決勝進出

3年 吉田和真・熊谷勇希

2年 赤松良・千葉太一

100m 準決勝進出

3年 田中みさ乃

200m 準決勝進出

3年 田中みさ乃

100mハドル 準決勝進出

3年 高橋夏央

400mリレー 7位

3年 青木末祐・田中みさ乃

2年 青木末祐・田鎖楠奈

600mリレー 準決勝進出

3年 田中みさ乃・渋谷文乃

2年 橋浦万理子・青木末祐

軟式野球 1回戦 泉1-13仙台商業

ソフトボール 1回戦 泉10-15常磐木

ソフトテニス男子 (団体) 泉1-2仙台一

(個人) 2回戦 上原・林

由井・原田

0-4仙台三

小畑・三浦

0-4仙台商

ソフトテニス女子 (団体) 泉3-0宮城学院

2回戦 泉2-1宮城一

3回戦 泉2-0柴田

準々決勝 泉0-2常磐木 (ベスト8)

(個人) 2回戦 佐藤・脇坂

1-4東北

3回戦 菅原・仲川

2-14築館

佐々木・牛渡

1-4登米

テニス同好会男子 2回戦 泉2-0泉松陵

3回戦 泉0-2気仙沼

1回戦 泉0-2宮城学院

バドミントン男子 1回戦 泉3-0志津川

2回戦 泉2-1古川

バドミントン女子 1回戦 泉3-0松山

2回戦 泉0-3松島

弓道男子 (団体) 5位

弓道女子 (団体) ベスト16

バレーボール男子 2回戦 泉1-2気仙沼

バレーボール女子 2回戦 泉0-2石巻市立女子

バスケットボール男子 予選敗退

バスケットボール女子 3回戦 泉82-64築和

卓球男子 1回戦 泉3-1村田

2回戦 泉0-3仙台三

卓球女子 1回戦 泉0-3中新田

予選敗退

剣道男子 (団体) 予選 泉5-0黒川

泉2-1仙台商

決勝トーナメント 1回戦 泉3-2石巻商

2回戦 泉2-1仙台一

3回戦 泉0-5仙台育英 (ベスト8)

(個人) 2回戦 半沢0-1泉松陵

3回戦 安達0-2東北

剣道女子 (団体) 予選 泉0-5迫桜

泉4-1石巻西

(個人) 3回戦 大野0-1小牛田

4回戦 松崎0-2小牛田 (ベスト16)

馬術 スピード・ハンディネス競技 4位 2年 平井

障害標準飛越競技 春季泉陽高等学校野球中部地区大会 硬式野球 本戦1回戦 泉5-6仙台

敗復1回戦 泉2-1伊賀鷲

II文化部の活躍

放送部 NHK杯全国高校放送コンテスト

宮城県大会 朗読部門 最優秀賞 全国大会出場

優良賞 2年 松本花雪

アナウンス部門 優良賞 3年 狩野志帆

優良賞 2年 齋藤友貴

優良賞 2年 小林茉莉花

NHK杯全国高校放送コンテスト

東北大会 朗読部門 奨励賞 2年 松本花雪

# 泉高進路状況

## ～国公立大合格者大躍進（平成21年度）

平成22年卒業生の進路決定状況は別表の通りですが、国公立大学に現役で90名合格と、大きな成果を挙げることができました。多くの場合、国公立大学に合格するためにはセンター試験を受け、その後各大学の試験を受けなければなりません。個別試験は記述試験や小論文が一般的ですが、付け焼刃では対応できるほど甘いものではありません。センター試験の結果が悪ければ、気持は落ち込み、戦わずして負けるという状態になってしまいます。結果が良ければ良いで、油断してしまい、思わぬ敗退をする生徒もいます。最終的に力を十分に発揮させるためには、学校としてもそれぞれの教科の指導力が問われることはもちろん、日ごろから生徒達とどう向き合ってきたかが非常に大事になります。

その意味において、今回の結果は学校全体の教育力が向上していることを示すことが出来たという点で大変喜ばしいことです。もちろん、この成果はこの1年だけで達成できたものではありません。本校の長い歴史の中での同窓生の皆様の社会での御活躍や御協力を土台に、特にここ数年、本校では生徒達が上記のような国公立大学の入試に立ち向かうような様々な機会を通して意識付けをしてきました。昨年度、1年生で開催した、同窓生を中心とした講師による「社会人講話」もその一つです。今回の成果もこれらの取り組みの流れの上にあるといえます。学習意欲の高い生徒の増加は、私大の合格率の上昇、ひいてはモラルの向上にもつながっていきます。しかし、家庭学習時間の不足、身なりなど、まだまだ問題はありますが、時が来ると、本校生はそれなりの意識を持つようになります。

同窓生の皆様にはぜひ、「社会人講話」など様々な機会を通して、生徒達がより高い意識を持てるよう直接、または間接的に様々な面から御協力頂きたいと思っております。

### 前年度までの現役最終進路先

	大 学			専 門 学 校	就 職		進 学 準 備	そ の 他	合 計
	国公立	私 立	短 大		公 務 員	民 間			
平成21年度	87	140	6	19	0	0	24	6	282
平成20年度	61	153	4	20	2	0	34	4	278
平成19年度	65	168	6	23	1	2	41	2	308
平成18年度	71	169	5	41	2	5	24	2	319
平成17年度	48	157	8	52	2	8	40	5	320

### 国公立大学合格者数

(防大含む) (現役のみ)

平成21年度	90名
平成20年度	64名
平成19年度	70名
平成18年度	82名
平成17年度	52名

### 平成21年度主要大学合格状況

( ) 内は浪人数で内数

国公立大	北見工業大学	1
	北教大釧路校	1
	北教大南館校	1
	弘前大学	1
	岩手大学	6
	東北大学	8 (2)
	宮城教育大学	5 (1)
	山形大学	24
	福島大学	9
	茨城大学	1
	宇都宮大学	2 (1)
	群馬大学	1
	埼玉大学	2
	東京海洋大学	1
	新潟大学	2 (1)
	青森県立保健大学	1
	青森公立大学	1
	岩手県立大学	5
	宮城大学	17 (2)
	国際教養大学	1
	会津大学	1
	高崎経済大学	2
	群馬県立女子大学	1
	首都大東京	1
	新潟県立大学	1
私立大学	東北学院大学	145 (8)
	東北工業大学	8 (1)
	東北福祉大学	17
	東北薬科大学	15
	宮城学院女子大学	47 (1)
	仙台白百合女子大学	15
	酪農学園大学1、神田外語大学3、東京農業大学3、東京電機大学2、法政大学3(1)、明治学院大学(1)、早稲田大学(1)	

### 平成22年度 泉陽会役員名簿

役 職	氏 名 (回)
会 長	桂島 晃 (1)
副会長	千葉 仁 (1)
〃	菅沢 勇 (1)
幹 事	吉田 恵幸 (7)
〃	大久保博信 (16)
監 事	金森 従雄 (3)
〃	諸橋 辰也 (7)
〃	阿部 浩二 (15)
会 計	庄司 幸男 (1)
〃	黒沢 政弘 (2)
〃	二階堂 章
参 与	小野寺恭一
〃	齋藤 順子
〃	横田 宏明

### 平成二十二年 役員紹介

### 平成二十三年 総会および懇親会の案内

平成二十三年度は、第五回生(昭和五十五年卒)、第十五回生(平成二年卒)、第二十五回生(平成十二年卒)、第三十五回生(平成二十二年卒)が世話役となり、八月十三日(土)にホテル白萩を会場にして行う予定です。詳しくは平成二十三年七月に案内を出します。

事務局 泉高校総務部  
〒981-3132 泉区将監10-39-1 tel.372-4111

### 平成21年度行事報告

[ ] は学校行事  
 平成21年 4月 8日 [入学式]  
 7月11日 役員会  
 8月 8日 総 会 (ホテル白萩)  
 泉陽会会報第25号発行  
 平成22年 2月27日 同窓会入会式  
 3月 1日 [卒業式]

### 平成22年度行事予定 (案)

[ ] は学校行事  
 平成22年 4月 8日 [入学式]  
 7月10日 役員会  
 8月14日 総 会 (ホテル白萩)  
 泉陽会会報第26号発行  
 平成23年 2月28日 同窓会入会式  
 3月 1日 [卒業式]

### 平成21年度 同窓会収支決算書

(単位：円)

#### 収支対照

収 入	支 出	残 額	摘 要
1,112,664	996,805	115,859	次年度へ繰越

#### 収 入

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,006,800	1,004,200		2,600	1,200円×334円 880円×6名 休会(1名)・退会(1名)・退会(1名)
繰 越 金	105,127	105,127			前年度からの繰越金
雑 収 入	1,073	3,337	2,264		利息
計	1,113,000	1,112,664		336	

#### 支 出

項 目	予算額	決算額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	175,000	125,670		49,330	
(会議費)	50,000	45,800		4,200	総会、役員会
(事務費)	30,000	29,665		335	総会広告料 総会写真代等
(渉外費)	35,000	0		35,000	
(通信費)	10,000	9,780		220	案内用切手 はがき代
(印刷費)	50,000	40,425		9,575	会報印刷代
学校行事補助費	230,000	229,135		865	
(卒業祝い)	230,000	229,135		865	卒業証書ホルダー代
生徒会補助費	100,000	42,000		58,000	遠征費補助 (弓道、放送)
積立準備金	600,000	600,000			50周年記念事業等積立金
予 備 費	8,000	0		8,000	
計	1,113,000	996,805		116,195	

#### 積立金会計

既積立額	既積立利息	21年度積立額	計	摘 要
4,518,608	8,437	600,000	5,127,045	1年自動継続定期預金

### 平成22年度 同窓会会計予算書(案)

(単位：円)

#### 収 入

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
会 費	1,050,000	1,006,800	43,200		1,200円×875名
繰 越 金	115,859	105,127	10,732		前年度から繰越
雑 収 入	141	1,073		932	利息
計	1,166,000	1,113,000	53,000		

#### 支 出

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
運 営 費	200,000	175,000	25,000		
(会議費)	50,000	50,000			総会、役員会
(事務費)	50,000	30,000	20,000		総会広告料
(渉外費)	35,000	35,000			慶弔費
(通信費)	15,000	10,000	5,000		切手、はがき代
(印刷費)	50,000	50,000			会報
学校行事補助費	240,000	230,000	10,000		
(卒業祝い)	240,000	230,000	10,000		卒業記念品
生徒会補助費	100,000	100,000			遠征費補助
積立準備金	600,000	600,000			50周年記念事業等積立金
予 備 費	26,000	8,000	18,000		
計	1,166,000	1,113,000	53,000		

#### 積立金会計

項 目	既積立額	今年度積立金	今年度積立額
50周年記念事業積立金	5,127,045	600,000	5,727,045